



## CONTENTS

2016年度 卒業式・修了式 .....	02
2016年度卒業・修了生の進路状況 .....	03
卒業・修了生に聞く内定獲得の秘訣 .....	04,05
2017年度 入学式／入試結果 .....	06
人事紹介／NEWS FILE .....	07
NEWS FILE／受賞 .....	08

## SCHEDULE 行事予定 (5月～8月)

### 入試情報

■ 5月27・28日	オープンキャンパス
■ 6月17日	2018(平成30)年度 第3年次編入学試験 (高等専門学校卒業予定者対象)(6月28日合格発表)
■ 7月15・16日	オープンキャンパス

### 学事

■ 7月24日～8月1日	前期定期試験(学部・修士)
■ 7月28日	修士学外実習(～9月21日)(予定)
■ 8月2日	夏期休業(～9月3日)
■ 8月6日	学部／修士海外英語演習(～9月10日)

# 2016年度卒業式・修了式

2016年度卒業式・修了式が3月21日に本学体育館にて挙行された。工学部卒業生は87名、大学院工学研究科(修士課程)修了生は38名、博士(工学)学位取得者は5名の計130名。

榊裕之学長から、学部代表の西原口寅彦君(私立出水中央高等学校(鹿児島県)出身)、修士代表の浅利司君(国立沼津工業高等専門学校(静岡県)出身)に、それぞれ学位記が授与された。また、博士学位についてはHU Jian君(中国出身)、Siti Munirah Binti SAHARINさん(マレーシア出身)、小島拓人君(本学修士課程出身)、Omar ELLEUCH君(チュニジア出身)、Aslihan ORUMさん(トルコ出身)の学位取得が論文題目と併せて紹介された。

榊学長は、「有能な技術者として

活躍するだけでなく、思いやりのある人間として社会に貢献し、世界のために尽力してほしい」と祝辞を贈った。

続いて、瀧本正民理事長(株式会社豊田中央研究所 特別顧問)は「先が見通しづらい社会だが、失敗を恐れずに粘り強くチャレンジし、活躍してほしい」と激励した。

また、来賓を代表し、小島プレス工業株式会社 取締役社長 小島洋一郎氏が祝辞を述べた。小島氏は「日本の産業界が大きな変革期を迎える中、常に自分の夢を持ち、絶対に諦めない強い信念を持つ人材へと成長してほしい」と期待のメッセージを贈った。

卒業生を代表して答辞を述べた榊原彰範君(小島プレス工業株式会社出身)は、大学生活での経験と成長を振り返り、修了生代表の塚田



豊田工業大学 榊裕之学長



小島プレス工業株式会社 取締役社長 小島洋一郎氏

健太郎君(私立津田学園高等学校(三重県)出身)は、研究に打ち込んだ日々とその教育環境について感謝を述べた。

最後に、学業成績・人物ともに特に優秀な人物に与えられる「豊田奨学基金賞」が、池田拓弥君(愛知県立春日井高等学校出身)と田中駿太君(愛知県立名古屋南高等学校出身)に授与された。

なお、工学部では学部卒業生87名のうち、主専攻分野の他に副専攻分野の所定単位を修得し認定を受けた学生は39名、そのうち2分野で認定を受けた学生は8名となった。



## 2016年度卒業・修了生の進路状況

就職決定率 **100%達成**  
(開学以来 100%)

第一志望への就職率 **87%**

### 卒業・修了生の進路(就職は内定状況)

	学部		修士課程			博士後期課程		
	社会人	一般	社会人	一般	留学生	社会人	一般	留学生
卒業・修了	8(12)	79(86)	1(2)	37(28)	0(3)	0(1)	1(1)	4(1)
満了						0(1)	1(0)	
内訳	企業復帰	8(12)	1(2)			0(2)	0(0)	
	就職		30(40)		37*(28)		2(1)	3(0)
	進学		48(46)		0(0)			
	その他(未定・帰国等)		1(0)		0(3)			1(1)
計	8(12)	79(86)	1(2)	37(28)	0(3)	0(2)	2(1)	4(1)
	87(98)		38(33)			6(4)		

( )は昨年実績人数 ※うち1名は9月に修了済

### 一般学生の就職先一覧

(人数順、五十音順、★新規)

(名)

	学部(30名)		修士(37名)	
	企業名	人数	企業名	人数
企業名	株式会社東海理化	3	トヨタ自動車株式会社	4
	アイシン精機株式会社	2	株式会社デンソー	3
	株式会社アドヴィックス	2	豊田合成株式会社	3
	ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社	2	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	2
	豊田合成株式会社	2	住友電気工業株式会社	2
	トヨタ車体株式会社	2	株式会社豊田自動織機	2
	トヨタ紡織株式会社	2	アスモ株式会社	1
	矢崎総業株式会社	2	株式会社アドヴィックス	1
	アイコクアルファ株式会社	1	株式会社協豊製作所	1
	愛三工業株式会社	1	株式会社島津製作所★	1
	アイシン・イー・アイ株式会社	1	新東亜貿易株式会社★	1
	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	1	ダイキン工業株式会社	1
	株式会社オティック	1	テルモ株式会社★	1
	四国旅客鉄道株式会社★	1	東レ株式会社	1
	株式会社新和建設★	1	DOWAサーモエンジニアリング株式会社★	1
	株式会社トヨタコミュニケーションシステム	1	株式会社トヨタコミュニケーションシステム	1
	トヨタ自動車株式会社	1	トヨタ車体株式会社	1
トヨタ自動車九州株式会社★	1	トヨタ紡織株式会社	1	
株式会社豊田自動織機	1	株式会社ニコン	1	
豊田バンモップス株式会社★	1	日本原子力研究開発機構★	1	
三菱電機株式会社	1	日本たばこ産業株式会社★	1	
		任天堂株式会社	1	
		橋本電機工業株式会社★	1	
		浜松ホトニクス株式会社★	1	
		株式会社マキタ	1	
		三浦工業株式会社	1	
		三菱電機株式会社	1	

### 参考 一般学生の累計就職先上位19社(1995年~)

### 参考 学部生の副専攻分野認定状況(名)

企業名	一般学生の累計就職先上位19社(1995年~)		企業名	学部生の副専攻分野認定状況(名)					
	人数	人数		認定状況	2分野認定	1分野認定			
企業名	トヨタ自動車株式会社	76	企業名	トヨタ紡織株式会社	19	所屬分野	機械システム	1	13
	アイシン精機株式会社	50		株式会社東海理化	17		電子情報	3	8
	株式会社豊田自動織機	49		トヨタ車体株式会社	16		物質工学	4	10
	株式会社デンソー	47		株式会社アドヴィックス	13		計	8	31
	アイシン・エイ・ダブリュ株式会社	43		ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社	13				
	本田技研工業株式会社	36		パナソニック株式会社	13				
	矢崎総業株式会社	33		フタバ産業株式会社	13				
	三菱電機株式会社	26		愛三工業株式会社	12				
	株式会社ジェイテクト	21		ダイハツ工業株式会社	12				
	豊田合成株式会社	19							

# 卒業・修了生に聞く 内定獲得の秘訣

2016年度も就職決定率100%を達成し、開学以来100%を維持する豊田工業大学。春から新社会人となった4人に、就職活動を振り返っての成功の秘訣や、後輩へのアドバイスについて聞いた。

## 熱意に勝る武器はなし



稲葉 大君

学部

### プロフィール

内定先：トヨタ自動車株式会社  
出身校(県)：国立木更津工業  
高等専門学校(千葉県)

研究室：制御システム研究室  
研究テーマ：太陽光発電の大規模導入を  
考慮した配電システムの  
安定化検討

私は、就職にあたっては業界のトップ企業に行きたいと思っていました。それは、トップ企業ほど取り組む課題や社会的な影響力も大きくなるため、人に感動してもらえる仕事をしたいという私の思いと通ずると考えたからです。

実際の就職活動では、大学院進学と迷っていたため、人より開始時期が遅くなってしまいました。その遅れを

挽回するため、限られた時間の中で企業研究を徹底的に行いました。例えば、企業のホームページをくまなく読み込み、各企業の特長を把握した上で、企業の目指す方向性と自分のやりたいことの共通点を考えました。また、受ける企業数が多くなるほど企業研究が浅くなると考え、企業数は絞り込み、その分深く調べることに専念しました。

面接では、高専と本学の両方で卒業研究に取り組んだ経験のもとに、研究内容そのものよりも取り組み姿勢のPRに重きを置きました。また、時には反応の厳しい面接官に遭遇することもありましたが、そのような場面では、高専時代から続けてきた居酒屋でのアルバイト経験を生かし、相手に合わせ和やかな雰囲気となるよう説明の仕方を工夫しました。

企業名だけで“受かるわけない”と決めつけてしまう人もいますが、非常にもったいないと思います。行きたいと思う企業に出会ったら、とことん調べ、その熱意を全身全霊でぶつけてほしいと思います。

## 自分を見つめた先にある出会い



柴田 芙見さん

学部

### プロフィール

内定先：株式会社アドヴィックス  
出身校(県)：愛知県立豊田西高等学校  
研究室：設計工学研究室

研究テーマ：ラフ集合理論を用いた  
複数製品種目の分析に基づく  
意匠設計法の提案

「交通事故死ゼロ社会の実現は、私たちの夢であり、使命です」力強く語られたこの言葉に、心を揺さぶられました。3年生の終わりに参加した会社説明会、自動車のブレーキシステムを扱うアドヴィックスのブースでのことです。身近な人の交通事故をきっかけに、自動車に関する仕事の中でも、「安全」に関わる仕事をした

いと思っていた私は、この会社の一員になりたい、と強く思いました。自分なりの軸を持っていたことで、ここだ、と思える会社に出会うことができたと思っています。

面接では、女性の少ない環境に関する質問もたびたびありましたが、本学では豊富にある実験や、メンバーの9割が男子学生であるマラソン同好会の副部長経験により培われた性別を越えた協調性をアピールしました。男子には負けたくないという強気の姿勢よりも、自分の果たす役割を考えて行動する柔軟な対応力を伝えるようにしました。

就職活動中は、理系女子向けの説明会や談話会も多く、毎日たくさんの人に出会い、新しい発見がある、とても刺激的な時間でした。“リケジョ”の活躍の場がますます増えていくことを願いつつ、私もリケジョの一人として安全を通じた社会への貢献をしていきたいと思っています。

## PR素材は日常にあり



大村 溪一郎君

修士

### プロフィール

内定先：任天堂株式会社  
出身校(県)：私立広島城北高等学校  
(広島県)

研究室：固体力学研究室  
研究テーマ：ナノ炭素材料の構造最適化

私は、もともと積極的な方ではなく、サークルなどにも参加していませんでしたが、本学では寮生活や大学祭の実行委員などを全学生が必ず経験するので、エントリーシートに書くエピソードに困ることはありませんでした。

任天堂には、企画職で採用されましたが、それはイノベーションコンテスト\*や創造性開発セミナーで経験してきたモノづくりへの意欲や創意工夫、失敗から学んだ

ことなどを具体的に伝えられたことが評価されたのではないかと思います。例えば、私はイノベーションコンテストの初代優勝チームのメンバーでしたが、製作過程で問題解決手法をめぐり、時には口論になりながらもお互いの主張をぶつけ合い、課題解決へとたどり着いた話などは、大変興味をもっていただきました。

これらの授業を通し、私は学んだ知識を実際に応用する力を磨くことができたと感じます。課題を見つけ、その解決方法も考え実際に試してみるという経験は、本学ならではの授業の特長だと思います。

任天堂はもともと関心が高かったのですが、大学案内パンフレットに載っていた任天堂内定者のインタビューを見て、本学への入学を決めました。もし、自動車関係以外の業界に弱いのでは、と不安を持つ学生がいるのであれば、心配することなく私の例を参考にしてほしいと思います。

\*イノベーションコンテスト:寮生活で抱える課題をチームで解決すべく、簡単な道具やアイデアを元に、モノづくりや創意工夫を競い合う学部1年生の必修科目でのイベント

## チャンスの多さを最大限に生かす



豊田 悠介君

修士

### プロフィール

内定先：株式会社島津製作所  
出身校(県)：私立済美平成中等教育学校  
(愛媛県)

研究室：高分子ナノ複合材料研究室  
研究テーマ：ナノ薬物伝達システム創出に  
向けた粘土鉱物アロフェンの  
活用

私が在学中に力を入れたことの一つに、英語力向上があります。3年次に研究室に配属されるまでは、全く英語への関心はありませんでした。しかし、毎日のように先生から渡される英語の論文を理解するため、自ずと勉強するようになりました。修士1年の時に、海外学外実習プログラムを利用してアメリカに留学した際には、己の英語力に絶望しながらも、英語への更なる強い関

心を持つことにつながりました。

内定を頂いた島津製作所には、若手社員を対象とした海外現場研修があり、これまで会得した英語力を生かせると感じました。また、私の修士研究に通ずる細胞解析事業が2年ほど前から立ち上がり、大学で培った知識を生かすことができると思ったことも志望理由の一つです。

本学は、小さな大学ゆえの一人当たりのチャンスの多さが魅力的だと思います。例えば、私は寮生サポーターや学祭実行委員長を経験し、リーダーシップを学ぶ経験もさせてもらい、また、学外実習には海外を含め計3回行くことができました。研究室に配属されてからは、先生と日々議論しながら、さまざまな学会発表や論文投稿する機会も数多く与えられました。

本学の多くのチャンスを自らつかみに行き、自分の糧となるよう努力すれば、必ず充実した学生生活を送ることができます。それは、就職活動においても必ずPR材料になるはずです。

# 2017年度 入学式



2017年度入学式を4月1日に挙  
行し、学部88名(高等専門学校からの  
編入生4名を含む)、大学院修士課  
程49名(台湾国立中興大学からの  
ダブルディグリー留学生5名を含  
む)の計137名が入学した。

榊裕之学長は「大学で学ぶこと

の意味を認識し、知的能力と自律  
心を向上させ、能力と意欲を高め  
て社会に貢献できる人材へと成長  
してほしい」と、期待の言葉を贈  
った。

続いて、学校法人トヨタ学園  
渡部教行常務理事は「主体性と強  
い意欲、そして熱意を持ち  
続け、人生を自ら切り拓い  
てほしい」と激励した。

また、豊田工業大学シカ  
ゴ校(TTI-C)の古井貞照学  
長は「人工知能の進歩はい  
ずれ人間の知識を超える。  
人間にしかできない創造性  
を発揮し、問題を自ら見  
だし解決する力を身につ  
けてほしい」と挨拶した。

新入生を代表して、学部の笠井  
純君(岐阜県立岐阜高等学校出  
身)、大学院の池田拓弥君(愛知県  
立春日井高等学校出身)がそれぞ  
れ誓いの言葉を述べ、これから始  
まる大学生活において、勉学や研  
究に励もうとする熱い意気込みを  
見せた。



豊田工業大学シカゴ校(TTI-C)古井貞照学長



## 2017年度入試結果

	入試区分	入学定員	募集人員	志願者	合格者	入学者
工学部	一般入試	90	70	895	355	84
	専門高校特別推薦入試(公募制)		若干	3	2	
	外国政府派遣留学生特別選抜入試		若干	0	0	
	社会人入試(含編入学試験) (内編入学試験)		20 (若干)	16 (3)	14 (0)	
	高等専門学校卒業予定者を対象とする3年次編入学試験		若干	14	10	4
大学院修士課程	一般入試	36		52	41	49
	学部3年次対象特別選抜入試(飛び級)		36	0	0	
	社会人入試			3	3	
	ダブルディグリー留学生入学資格審査		若干	5	5	
大学院博士後期課程	夏季入試(2016年7月実施)	12	12	0	0	1*
	冬季入試(2016年11月実施)			0	0	
	外国人(海外在住)(2016年度内実施)			1	1	

※2016年10月入学

## 新「久方寮」最初の入寮

3月30、31日に新学部1年生が入寮した。2017年度から新  
学生寮が稼働開始し、今年度の入寮生が新「久方寮」の第一期  
生となった。また、2017年度から学部1年次は男子学生に加え、  
女子学生も全寮制となった。寮ではサポート役の上級生を含め  
た原則8人で1ユニットを組み、1年間共同生活を送る。



▲入寮時受付の様子。くじ引きで居室を決めている

## 人事紹介

新  
任



### システム光波工学研究室

保立 和夫 副学長・教授 (65歳)

1993年6月 東京大学 先端科学技術研究センター 教授  
1997年4月 東京大学 大学院工学系研究科 教授  
2006~2008年 東京大学 大学院工学系研究科長・工学部長  
2015~2016年 東京大学 理事・副学長  
2017年4月 本学副学長・教授に着任

#### 主な研究分野

フォトニックデバイスや光波の物理を熟考して、斬新な  
機能を発現する光システムを構築する研究を行います。  
光ファイバに加わる伸縮歪を数mmの空間分解能で分布  
計測できるセンシングシステムや、光波の干渉特性を合  
成する独自技術による光情報処理システムの研究など  
です。この研究領域をシステムフォトリソと名付けました。

新  
任



### 材料プロセス研究室

南部 紘一郎 助教 (33歳)

2011年3月 名城大学 博士(工学)  
2011~2017年 鈴鹿工業高等専門学校  
機械工学科助教  
2017年4月 本学助教に着任

#### 主な研究分野

微粒子ピーニング処理や金属熱処理などの表面改質  
処理が金属材料の疲労やトライボロジーに及ぼす影響  
について研究を行っています。処理条件を選択すること  
で、目的に応じた表面改質効果が得られることから、自動  
車産業への利用だけでなく、海洋発電設備や生体材料な  
ど幅広い分野への応用展開を目指して研究を行います。

称  
号  
授  
与

### 三田誠一元教授、原民夫元教授に名誉教授の称号授与

5月1日付で、三田誠一元教授と原  
民夫元教授に名誉教授の称号が授与  
された。

三田元教授は、主担当教授として磁  
気記録のための信号処理技術の研究  
を行うとともに、スマートビークル実  
現に向けた環境認識技術の研究を推  
進し、2010年4月~2017年3月まで  
初代スマートビークル研究センター長  
を務めた。また、豊田工業大学シカ  
ゴ校

(TTI-C)の創設にも多大な貢献をし、  
2002年3月~2005年9月まで客員  
教授としてTTI-Cに赴任した。なお、  
2017年度からは本学でシニア研究ス  
カラを務める。

原元教授は、主担当教授としてX線  
レーザーや電子ビーム励起プラズマに  
関する先駆的研究と教育を通じ、学術  
的かつ教育的貢献をした。また、「知の  
拠点あいち」に参画して産学行政連携



三田 誠一元教授



原 民夫元教授

の研究開発推進に寄与し、本学初のペ  
ンチャー企業を立ち上げるなど、本学  
で得られた研究成果を実用面でも生  
かすべく積極的に活動を行った。

## 南門閉鎖のご案内



新キャンパス建設工事に伴い、4月4日から2018年3月末まで南門を閉鎖いたします。本学へお越しの方は、正門からお  
入りいただきますようお願いいたします。上記期間中の本学へのアクセスにつきましては、ホームページをご確認下さい。  
<http://www.toyota-ti.ac.jp/access/index.html>

## NEWS FILE

### FILE-01

### 「次世代文明センター」特別講演会を開催(3/7)

本学は、人間社会とその未来に対する深い洞察力や  
幅広い見識を培うことを目的に、2016年に「次世  
代文明センター」を設立した。このたび、初の取り組みと  
して特別講演会を行い、来賓ならびに本学の学生・教職員  
が多数聴講した。

まず、センター長を務める村上陽一郎氏(東京大学・国  
際基督教大学名誉教授:写真左上)が「日本文明はあるか  
」と題した特別講演を行い、文化と文明の違いや特色を論  
じるとともに、次世代文明のあり方を探る中、日本文化が  
国際社会の中で果たせる役割について、問題提起を行った。

また、センターのコアメンバーである哲学者の小川侃氏  
(京都大学名誉教授:写真右上)、経済学者の佐和隆光氏  
(京都大学名誉教授:写真左下)、榊学長を交え、パネル  
討論も行い、議論を深めた。今後、同センター  
では、講演会の開催や  
教職員研修における  
問題提起など、本学  
の教育・研究の質向上  
の基盤となる知的土  
壌を豊かにするための  
取り組みを進める。



シンポジウム開催

## FILE-02

### スマートエネルギー技術研究センター シンポジウム(1/30)

2012年度に本学独自の研究センターとして発足し、太陽電池を中心としたクリーンエネルギーの有効活用を研究する「スマートエネルギー技術研究センター」(センター長:大下祥雄教授)が第9回目となるシンポジウムを1月30日に開催し、計110名が参加した。

田中功氏(京都大学 教授)による「第一原理計算とインフォマティクス手法を用いた材料探索」と題した招待講演のほか、ポスターセッションも開催した。また、国立研究開発法人科学技術振興機構との共催で、同機構のCREST研究領域「太陽光を利用した独自のグリーンエネルギー生成技術の創出」(研究総括:山口真史シニア研究スカラ)の成果報告会も併せて開催された。



大下 祥雄 研究センター長

## FILE-03

### 先進触媒開発研究センター シンポジウム(3/10)

文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業に採択され、2015年度に発足した「先進触媒開発研究センター」(センター長:本山幸弘教授)が初のシンポジウムを3月10日に開催し、計84名が参加した。同センターは、化石燃料に替わるエネルギー源の多様化と自給率向上、元素戦略に立脚した製造プロセスへの転換を目標に、高機能金属触媒の創製とシステム開発を行っている。

シンポジウムでは、堂免一成氏(東京大学 教授)、徳永信氏(九州大学 教授)、斎藤進氏(名古屋大学 教授)による招待講演のほか、本研究センターメンバーによる研究報告およびポスター発表が行われた。



## 受賞

### 学内

#### ■ 豊田奨学基金 研究奨励賞

将来の研究進展が大いに期待される萌芽的研究を行った教員およびポストドクトラル(PD)研究員に対し、その業績の顕彰、研究推進の奨励を目的として授与する。

受賞者	研究テーマ
川西 通裕 准教授 (制御システム研究室)	高密度Beowulfクラスターによる量子型粒子群最適化に基づく知的制御系設計
史 金星 PD研究員 (固体力学研究室)	異種材料からなる複合構造体に対する形状最適設計に関する研究
Junie Jhon M. VEQUIZO PD研究員(量子界面物性研究室)	Dynamics of Photocarriers in Powder Metal Oxides and Metal Nitrides Photocatalysts



前列左から史金星PD研究員、川西通裕准教授、Junie Jhon M. VEQUIZO PD研究員

#### ■ 英語優秀賞

卒業判定の時点で、英語Step-Up Point(E-SUP)制度への取り組みにより獲得したポイントが上位の学生に授与する。

受賞名	受賞者	E-SUP ポイント	研究室
英語最優秀賞	水口 凱(岐阜県立斐太高等学校出身)	426	知能数理研究室
英語優秀賞	榊原 彰範(小島プレス工業株式会社出身)	378	固体力学研究室
	河瀬 千暁(北海道札幌南高等学校出身)	319	熱エネルギー工学研究室

※英語Step-Up Point(E-SUP)制度…入学から卒業まで継続的に英語を学ぶことを狙いとした本学独自の制度。TOEIC(HP)への取り組みをはじめ、各種英語イベントへの参加などを通じてポイントを獲得する。  
なお、卒業要件は100ポイント以上取得、卒業生の平均は179ポイント。

### 学外

各学会から、人格・学業ともに優秀であると認められた者に授与する。

※学年は受賞時点

受賞名	受賞者	研究室
日本機械学会富山賞(学部)	村松 吉晃(国立豊田工業高等専門学校出身)	固体力学研究室(学部4年)
日本機械学会三浦賞(修士)	坂爪 亮(茨城県立勝田高等学校出身)	熱エネルギー工学研究室(修士2年)
精密工学会東海支部学生優秀賞	若狭 守(私立岐阜東高等学校出身)	固体力学研究室(学部4年)
自動車技術会大学院研究奨励賞	善本 諒(広島県立広島井口高等学校出身)	固体力学研究室(修士2年)
計測自動制御学会中部支部長賞	浅田 真生(長野県松本深志高等学校出身)	情報通信研究室(学部4年)
電気学会東海支部長賞	下野 貴文(石川工業高等専門学校出身)	電子デバイス研究室(学部4年)

編集後記

4月からいよいよ新久方寮が稼働開始となり、南棟も2018年2月に竣工する予定です。新しいキャンパスで新たな歴史を刻んでいく豊田工業大学の動きを、今後も紹介していきます。